

「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（峰小学校）

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

人間尊重の教育を基盤に、心身ともに健康で、自分の夢や目標のために自ら考え主体的に行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成。 学校の品質：「色々な場面で自分の夢や目標のために自ら考え主体的に行動できる児童がどれだけ育っているか」が本校の良し悪しの判断基準として定義する(このような人材を育成するのが究極の目的・目標となる)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- (1) 児童第一主義(児童を主人公にした学校づくり)
- (2) 長所を引き出し、ほめて伸ばす(ほめる経営)
- (3) めざす児童像を実現するために具体的重点活動を掲げ、徹底して活動する。
- (4) 重点活動の有効性を図る評価項目(物差し)及び具体的目標値を設定する。
- (5) 適切な評価者を選定し、定期的に評価を受け目標未達成時は組織的に改善策を講じることで具体的目標値及び教育目標に迫る経営をめざす。(目標管理手法を駆使しPDC Aの改善サイクルを回す。改善の手立てを企画委員会で検討する)従って、重点活動については2回以上/年のアンケート評価を実施する。
- (6) 全職員が同じ価値観で具体的目標値を達成する。従って学校経営の重点目標を学級・学年経営計画及び全職員の行動基準表に反映し、組織的に取り組む(組織マネジメントの駆使)。
- (7) 結果は大切だがプロセスはさらに大切であり、この前向きな考え方を行動基準表に生かすことで達成感いっぱいの活動とする。
- (8) 評価を意欲及び成果向上の道具(ツール)として生かす学校経営めざす・・・外部評価、内部評価、児童評価、教職員評価制度 etc

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1) 子どもを生かす学校・・・指示待ちから自ら進んで行動できる児童の育成
- (2) 組織を生かした学校・・・教育専門職としての資質と能力の向上を目指した校内研修の活性化等
- (3) 地域を生かす学校・・・地域協議会を窓口として保護者や地域団体等の学校への積極的参画化
- (4) 特色ある学校=保護者・地域の皆様が来なくなる学校・・・児童が主役，活躍の場づくりと積極的な公開

4 今年度の重点目標（短期的視点）

- (学校運営) 最重点活動 [峰小 元気・やる気・思いやり活動]
 全体で育てたい児童像・・・「色々な場面で自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる児童」
- (児童生徒指導) 【思いやり】「心豊かで、思いやりのある子」の実現活動
 心をこめたあいさつ徹底運動・・・各種団体と連携したあいさつ運動の実施等
- (健康・体力) 【元気】「健康でたくましい子」の実現活動
 健康・体力向上活動～「元気チャレンジ活動」、食事好き嫌い撃退作戦(給食を含めて)等～家庭との信頼度向上活動
- (学習指導) 【やる気】「よく考え進んで学ぶ子」の実現活動
 基礎・基本の徹底学習活動、読書いっぱい活動、「分かる授業」の展開～「分かる授業等実践研究」の推進等

5 自己評価 (Aは共通評価指標，Bは学校独自評価指標)

(評価指標の〔全〕は，全体アンケート実施)

(「主な具体的な取組の方向性」には，A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止，を自己評価時に記入)

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	学校上げての「元気・やる気・思いやり活動」の実践◎評価項目・・・「自ら考え自ら進んでいるいろいろな活動に取り組むことができましたか」 評価対象者～児童、保護者	A	【達成状況】 ・教育全体の状況については，児童，保護者は，ほとんど肯定的回答をしている。 ・「元気・やる気・思いやり活動」が昨年より全体に浸透してきた。
	A2 教職員は，組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	PRできる学級・学年経営---至福の感動先生・感動職員を目指す活動 ◎評価項目・・・学級独自に評価項目を決めて、行動規準表に反映する 評価対象者～保護者	B	・学級経営方針については，学校独自アンケートにより，90%以上の保護者が共感している。 ・教職員の指導については，授業参観後のアンケートでも高い評価を得ている。

	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	ルールやマナーを守る態度の育成 ・「峰小よい子の一日」実践活動 □評価項目・・・「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしていますか」 評価対象者～保護者	B	【次年度の方針】 ・次年度も「元気・やる気・思いやり活動」を継続していく。 ・重点活動をしぼり、定着した活動は一般活動として取り組む。 ・家庭・地域をさらに巻き込んだ活動を計画的に推進していく。
	A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	「分かる授業等実践研究」の推進 ・校内研修を通しての学習指導力の向上等 ・授業参観日を活用して評価 評価対象者～児童、保護者	B	
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】提出及び確認100%	教育課程及び週案の確実な実施 ○評価項目・・・週案提出及び確認 評価対象者～保護者	B	
学校運営の状況	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】100%実施	「峰小だより」や「学年だより」の定期的発信、「峰だより」は地域への回覧方式とする 評価対象者～保護者、地域協議会	B	【達成状況】 ・学校運営の状況については、ほとんどの項目が肯定的回答である。(A8について教職員が55.5%の肯定回答である。) ・学校支援地域本部事業がスタートして2年目、様々な活動にボランティアの協力が得られ充実してきた。 ・「峰の寺子屋」が発足し、放課後の居場所づくりが推進された。 【次年度の方針】 ・「学校だより」「学年だより」等は、さらに充実させ定期的に発行していく。 ・地域協議会のメンバーが増えいろいろな情報が得られるので、協議会の活動・児童の活動に生かしていく。 ・学校支援地域本部事業の活動を広め、学校・家庭・地域の連携をさらに進めていく。 ・教職員が共通理解のもと清掃活動に力を入れ、「きれいな学校」になるよう指導する。 ・学校の研究テーマを決め、全員で授業研究をするとともに、一人一授業を実施し教員どうし学び合い指導力の向上に努める。
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	家庭・地域との連携・協力 ・「街の先生」・宇都宮大学などの連携・協力による学習内容の充実等 □評価項目・・・「学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組みが進められていますか」 評価対象者～保護者、地域協議会	A	
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	清掃活動の充実 確実な学校安全点検活動の実施 評価対象者～保護者	B	
	A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕 【数値指標】1回以上/人実施	教職員の指導力アップ ◎評価項目・・・全教員一人一授業及び前向き授業研究会の実施(実施目標) 評価対象者～保護者	A	
	B1 「元気・やる気・思いやり」の合言葉を意識して活動している。 【数値指標】肯定回答80%	峰小児童の合言葉の意識化、習慣化 □評価項目・・・学校は、「元気・やる気・思いやり」の合言葉を意識して活動していますか。 評価対象者～児童、保護者	A	
教育活動の状況	A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】肯定回答80%	心をこめたあいさつ徹底運動 ・各種団体と連携したあいさつ運動の実施等 ◎□評価項目・・・「元気にあいさつし、気持ちのよい言葉づかいができましたか」評価対象者～児童、保護者、地域協議会	A	【達成状況】 ・あいさつは、教職員が55%。言葉遣いは教職員70%、保護者74.7%、児童72%でありよい結果ではない。 【次年度の方針】 ・あいさつについて、学校独自のアンケートでは、児童・保護者・地域とも肯定的回答で

	B 追加活動なし		あった。家庭・地域を巻き込んだ活動を継続し根気強く取り組んでいく。 ・言葉遣いは、保護者とも連携を図り、道徳・学級活動等で指導していく。 ・年間 2 回以上のアンケートを実施し、その都度改善していく。
健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。[全] 【数値指標】 肯定回答 80%	早ね・早起き・朝ごはん活動、好き嫌い撃退作戦～家庭との信頼度向上活動 ◎□評価項目・・・「嫌いな食事が食べられるようになりましたか」 評価対象者～児童、保護者	B 【達成状況】 ・朝ごはん、好き嫌い撃退は、児童が 78.2%であった。が、本校の重点活動として取り組んだ結果、学校独自のアンケートでは、児童・保護者とも肯定的回答であった。 ・検定カードチャレンジは、すべて肯定的回答であり、児童はめあてを決めて積極的に取り組んでいる。 【次年度の方針】 ・2つの項目とも、活動が児童・保護者に定着してきたので、一般活動として取り組む。さらに工夫した活動を継続していく。
	B 自分のめあてにチャレンジして頑張っている 【数値指標】 肯定回答 80%	健康・体力向上活動 「鉄棒検定カード」「水泳検定カード」等の活用 ◎□評価項目・・・「自分のめあてにチャレンジしてがんばりましたか」 評価対象者～児童、保護者	B
学習	A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。[全] 【数値指標】 肯定回答 80%	基礎・基本の徹底学習活動 ・朝の学習時間の充実 ・漢字や計算の反復練習 ・国語、算数の標準時数以上の実施 ◎評価項目・・・「進んで学習する習慣ができましたか」 評価対象者～児童、保護者	A 【達成状況】 ・A12 の学習については、教職員・保護者は肯定的回答だったが、児童は 78%だった。「進んで学習」の本校の独自アンケートも、児童 78%、保護者 69%で目標未達成だった。 ・読書については、児童は 80.3%だが、保護者は 72.2%で未達成である。教職員が 100%であることから、読書している姿が保護者に伝わっていない。 【次年度の方針】 ・基礎基本の徹底学習と読書いっぱい活動は、次年度も本校の重点目標として取り組んでいく。 ・各学級で、努力目標を決めて目標達成のために努力する。 ・基礎基本の徹底学習では、「家庭学習がんばり月間」を強化したり、児童がめあてを決め努力する活動を増やしたりして、進んで学習する習慣を身につけていく。 ・読書いっぱい活動は、家庭と連携を図り、「親子で読書タイム」活動や家庭読書の習慣化を強化し、進んで読書する習慣を身に付けていく。 ・年間 2 回以上のアンケートを実施し、その都度改善していく。
	B 自分から本を読む習慣がついている 【数値指標】 肯定回答 80%	読書いっぱい活動 ◎評価項目・・・「自分から本を読む習慣がつかいましたか」 評価対象者～児童、保護者	A

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B 保護者・地域の皆様が来なくなる学校になっている。</p> <p>【数値指標】 肯定回答 80%</p>	<p>「特色ある学校づくり」推進活動</p> <p>①児童が主役、活躍の場づくりと積極的な公開</p> <p>②各種交流体験活動</p> <p>③保護者、地域、各種外部団体の学校支援・参画の推進</p> <p>○評価項目・・・「保護者や地域の皆様が来なくなる学校になっていいますか」</p> <p>評価対象者～児童、保護者、地域協議会</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は児童 89%，保護者 96%，地域 100%と大変高い評価を得ている。 ・児童集会、音楽集会、学校・学年行事等の参観者も多くなった。また地域協議会と連携したボランティア活動も充実し、協力してくれる方も増えてきた。 <p>A</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が活躍する場をさらに広げ公開していく。 ・地域協議会と連携を図り、学校支援の体制をさらに進めていく。
------------------	--	---	--

〔総合的な評価〕

- ・全体アンケートの結果、保護者は「きちんとした言葉づかいや返事をしている」（本校 74.7%・市平均 61.7%）と「読んで読書する習慣ができています」（本校 72.2%）の項目以外はすべて肯定的回答であり、且つ市全体の平均をすべて上回っている。保護者が学校を信頼し協力してくれている様子がうかがえる。
- ・児童は、「授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」（75.5%）、「きちんとした言葉づかいや返事をしている」（72%）、「給食を好き嫌いなく食べている」（78.2%）、「授業に対して積極的に取り組んでいる」（77.2%）、「落ち着いて学習している」（79.6%）が目標未達成である。他は学校独自の項目も含め肯定的回答である。児童は、概ね学校生活に満足し、元気に楽しく活動している。
- ・地域住民は、「教職員はきめ細かな指導をしている」の項目等、『判断できない』の回答が多いが、他は、肯定的回答が多く高い評価を得ている。学校を支援し協力してくれている様子がうかがえる。
- ・教職員は、「清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」（55%）、「あいさつをしている」（55%）が低い値である。が、概ね目標を達成し、やりがいを感じながら学習指導、児童指導に当たっている。

6 学校関係者評価

- ・地域協議会において、何度か学校経営方針の説明があり、学校がどんな活動をしているのかよく分かる。また、教職員が同じ目標に向かって努力している様子が分かる。
- ・学校は、児童・保護者・地域・教職員に独自の評価を実施し、反省・改善をしている。また、それを、地域協議会や学校だよりで公表説明している。評価の悪かった活動をいかに改善していこうとしているか、学校の取り組みがよく分かる。すぐには成果が表れないものもあると思うが頑張してほしい。
- ・「自ら考え、主体的に行動できる児童の育成」という目標は、大変よい。今の人たちには欠けていることであるので、様々な活動を通して身に付けてほしい。
- ・授業参観をして、先生方がいろいろな教材を使って、熱心に指導していた。また、児童の聞く態度や発表する態度がrippで、先生と児童が信頼し合っていることが分かった。高学年の教室は狭そうだ。
- ・学校だよりの発行回数が多い。地域にも回覧しているので、学校の様子がよく分かる。
- ・読書活動は、保護者の協力が必要。
- ・あいさつは、個人差がある。学校では、あいさつするが地域ではあまり返事が返ってこない。知らない人には、声をかけない等の指導がされているからか。知っている人やスクールガードの人達にはあいさつをしてほしい。
- ・地域協議会のメンバーに、宇大教授やコミュニティーセンターの方が加わったので、いろいろな情報を提供していただき、協議会の活動に生かしていきたい。
- ・学校支援地域本部事業がスタートして2年目、協議会で毎回様々なボランティア活用の報告があり、学校もボランティアも楽しそうだ。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

全体的には、肯定的な評価を受けているので、これまでの活動を継続しさらに充実させていく。「自ら考え主体的に行動できる児童」を育成するため、やや評価の低かった‘読書’や本校独自評価の結果が低かった‘学習’を中心に、活動内容を工夫改善し取り組んでいく。‘あいさつ’については、保護者・地域を巻き込んで実施する。また、地域協議会に新たなメンバーが加わったので、様々な分野からのご意見・情報を得、地域協議会の活動や学校支援地域本部事業を充実させていく。活動の様子は、協議会だよりや学校だより等で知らせ、地域の協力も得ながら‘来なくなる学校づくり’を推進していきたい。